



梅雨のさなか、雨の多い暑い日が続いています、コロナウイルス感染にも十分気をつけましょう。また、暑さ対策や熱中症にも気を付けたいものです。秋にかけての行事をお知らせします。参加をお待ちしています。



9~11月行事の見どころ



キキョウ

8月のバス旅行は中止。11月は大阪市立大学附属植物園を変更しています。

●9月26日(土) 県立尼崎の森中央緑地公園見学



はじまりの森

阪神電車出屋敷駅に集合し、阪神バスに乗車し尼崎スポーツの森で下車。

21世紀の森など新しい森づくりを見学します。尼崎の森中央緑地は、昔は製鉄会社の工場があった埋立地に16万本の苗木を植え、多様な生物がくらす生物多様性の森を100年かけて作ろうとしています。

植えた苗木が大きく育って、いろいろな生き物たちもやってきて、にぎやかな森になってきています。はじまりの森は平成18年に始まり、約50種12000本で高さ約8mになってきています。苗木の保育所は森づくりのための苗木づくりを行う場所です。

種まきや苗木の植え替え、育成などを行うビニールハウスと圃場があります。



苗木の保育所



海浜植物のハマゴウ

みなの花野では、万葉の時代に、伊丹から尼崎にかけての台地を「猪名野」、尼崎の海を「ちぬの海」と呼んでいました。万葉集に詠まれたような日本に昔からある野草を楽しめる場所です。六甲山から瀬戸内海にかけて生育している四季折々の野草があるエリアです。山、野、海の3つのゾーンに分かれ、各ゾーンに生育する野草や樹木を楽しめます。

●10月11日(日) 船坂で里山の自然観察



ナツハゼ

近場の船坂で「小さな秋」を探してみましょう。

さくらやまなみバスを利用して、舟坂橋バス停に集合します。午前中は、船坂集落の西端の山裾をめぐる道を散策しながら植物を観察します。昼食後、午後は集落の中を歩きながら、水田まわりの植物の観察と茅葺屋根の建物の見学をします。



アキノキリンソウ



チョウシタデ



イボクサ



ツリガネニンジン

● 11月28日（土） 苦楽園口～北山緑化植物園～神呪寺 紅葉と木の実を楽しむ

阪急甲陽園線、苦楽園口駅近くの夙川沿いに集合して、緑道を銀水橋に向かいます。桜の紅葉、イチヨウの黄葉がマツの緑に映えているでしょう。銀水橋までは街中の自然で、さまざまな帰化植物が見られます。銀水橋からは山に入ります。少し登りが続きますが、越えると、北山緑化植物園に出ます。ここで、昼食。園内を少し散策。午後は北山貯水池に向かいます。甲山周辺で見られるいろいろな樹木に実がついていることでしょう。北山貯水池からながめる甲山も貯水池に映る甲山も素晴らしい眺めです。



西宮のオリジナル植物
エンジェルズ・イヤリング



北山貯水池に映る甲山



ウシコロシの別名がある
カマツカ

【甲山でホタルカズラの花を再確認】

1987年5月23日に甲山のホタルカズラの花を撮影して以来、毎年のように花を見てきました。ところが、2000年5月14日以後は、ネザサに隠れるように数株自生していることは知っていましたが、花を見ることはありませんでした。今年2020年5月11日いつものように自生している所を探すと、開花しているのを約20年ぶりに見つけました。

ホタルカズラは、常緑の多年草で、北海道から沖縄まで広く分布しているムラサキ科の植物で、種名は、草の中で咲く青紫色の花をホタルが飛び回る様子にたとえたものです。清水孝之氏の「神戸・六甲山の草花ハンドブック春～初夏編」ほおずき書籍によると、注意深く探せば、見つけれられる程度の多さがあります。しかし、甲山周辺ではここ以外では見ていません。花が今後も咲き続けることを楽しみにしています。

